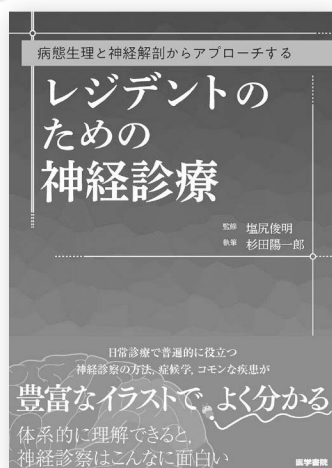


今月の特集関連本 ①



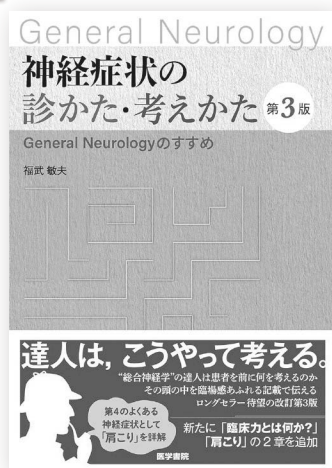
病態生理と神経解剖からアプローチする レジデントのための神経診療

塩尻俊明＝監修

杉田陽一郎＝著

定価 5,720 円／B5 判・392 頁／医学書院／2023

神経領域は「難しい」「わかりにくい」と敬遠されがちだが、体系的に理解できると面白い！ 本書は初学者向けに、領域横断的に内容をまとめ、オリジナルのスキーマを多用し概念を整理して提供することで、研修医・若手医師の学習に有用な1冊となっている。日常診療で普遍的に役立つ神経診療の方法や症候学、コモンな疾患を扱っており、非専門医でもここまでは把握しておきたいという線引きを明示した。



神経症状の診かた・考えかた

General Neurology のすすめ

第3版

福武敏夫＝著

定価 5,940 円／B5 判・440 頁／医学書院／2023

気概・情熱・好奇心に満ちた General Neurology の必読書が待望の改訂！ 脳神経内科学の肝である神経症状の診かた・考えかたを、本領域の第一人者である著者が、その経験を踏まえてまとめた実践的な教科書。診断への道筋を著者がどのようにたどったかがわかる臨場感のある記載が多くの読者に支持され、初版以来、幅広い層に読まれた定番書。本改訂では、「臨床力とは何か？」「肩こり」の章を追加。さらに新たな症例・知見を盛り込み、全体にわたってアップデートした。



神経システムがわかれば 脳卒中リハ戦略が決まる 第2版

手塚純一・増田 司＝著

定価 5,280 円／B5 判・292 頁／医学書院／2024

「神経システム＋脳画像＝リハ戦略」ではなかった?! リハで見逃してはいけないのは目の前の患者さんの臨床症状です。神経システムと脳画像所見から臨床症状を読み解くこと、それが効果的なリハ戦略につながるのです。本書によってアプローチの選択肢は確実に増えます。それは臨床現場で絶対的な武器となるでしょう。脳画像の見かたや運動療法等がみえてわかる Web 動画付き。